



西早稲田中だより

新宿区立西早稲田中学校 03(3205)9674

年末年始を迎えて

校長 片倉 元次

木枯らしに一段と寒さを感じるころとなり、いよいよ年末年始を迎えます。私が住む町の近くには大きな寺社があるので、伝統的な年末年始の風習や行事が身近に感じられます。今年も11月に入ると「酉の市」を知らせる提灯が飾られ、間もなく年の瀬であることに気付かされました。今年は「三の酉」までである年でしたが、「三の酉」までである年は火事が多いなどという話も知っている人が少なくなりました。

多くの伝統的な習慣が忘れられていく社会の中で、年末年始の様々な風習や行事はなお大切にされていると言えるでしょう。大掃除、餅つき、大晦日、年越し、除夜の鐘、門松、注連飾り、初詣、お年玉、鏡餅、おせち料理、初夢などなど…。街角や商業施設は華やかに飾り付けられ、年末年始の雰囲気盛り上がります。しかし、実際の生活の中でこのような諸行事を取り入れている家庭は少なくなりました。けれども諸行事の背景にある思いは今も変わらないと思います。一年の区切りを大切に、一年間の無事に感謝し謙虚に反省して、次の年への決意を新たにしたい。新しい年を迎えることは現代でもとても大切なことです。

それぞれのご家庭でお正月の迎え方は様々でしょうが掃除、片付け、買い物、調理などの実生活の中で、この時季のご家庭でしかできない貴重な体験をさせてあげてください。そうした手伝いを通して、子供たちはいろいろなことを学び成長していきます。一年の計は元旦にありというように、一年の節目として私たちは正月をことのほか大切にしてきました。ぜひ、実際の生活の中で体験することを通して、伝統的な風習や行事の意味を考えて欲しいと思います。



今年も本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。生活リズムを崩すことなく、健康第一で年末年始をお過ごしください。七草粥を食べ、松の内が明けた一月八日（水）の始業式に新年の決意を新たにしたい。元気な生徒たちと会えることを楽しみにしております。

学校評価のアンケートについて

教務部から

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取り組みです。その検証材料として「生徒アンケート」、「保護者アンケート」、「教員の自己評価」、「学校評議委員からの意見」があげられます。これらを総合的に検証して来年度の本校の教育活動に生かしてゆくものです。皆さんからの大切な意見を生かしてより良い学校教育が行えるように活用させていただきます。

今年度の「保護者アンケート」の回収率は、1年生が90.3%、2年生が78.7%、3年生が76.1%で全体としては81.9%でした。

沢山のご家庭のご協力ありがとうございました。

(集計結果は本校ホームページの「学校評価」に掲載してありますのでご覧ください。)

実りの秋から準備の冬へ

進路指導部から

今年は10月頃まで暑さが続き、あっという間に木枯らしが吹いて冬を迎え、例年より秋の季節を感じる期間が短かったように思います。そうした中で、「夢」をテーマに道徳や総合的な学習の時間で、様々な学びが行われ、西早稲田祭での各学年の発表につながりました。どの学年も工夫があり、生徒ひとりひとりが、自分の生き方を考える機会になったと思います。

3年生はいよいよ進路決定や卒業に向けての取り組みが本格的になります。2年生も1年後の進路決定に向けて上級学校調べが進められています。1年生は校外学習「東京めぐり」の準備が始まりました。

それぞれの学年が、次のステージ（輝かしい春の季節）に向けての準備が行われています。この1年で身につけた力をこれからの学習や生活に活かせるよう、新たな目標を持ってチャレンジしてほしいと思います。

冬休みの生活について

生活指導部から

まもなく冬休みになります。期間は短いですが、年末・年始という大切な時期をはさんだ休みです。家族が一同に会し、新しい年への出発をする新年の行事の中で、お子様の成長にとって大事な節目としてほしいと思います。この時期、生活のリズムを乱すことなく順調にスタートできるように、別に配布させていただきます『冬休みの生活について』をご覧ください。